

## シンガポール小学校視察（シンガポールの成長の秘密）

約 17 年ぶりに訪れたシンガポールの発展した様子には私はショックを受けた。4 月～6 月の四半期の成長率はなんと前年比 18.8%である。年率では 13～15%成長の政府見通しである。いたるところ高層ビルがよきよきと生えて、小槌の音がここかしこで聞こえる。



自転車の横に座席をつけた輪タクのトライショーも今では観光客用に一部で乗車できるだけになり、その頃なかった MRT という最新の鉄道網が整備されていた。

旅の土産話にと、この春オープンした Marina Bay Sands に行ってきた。55 階建ての 3 棟のホテルの上に 1 万平方メートルの空中ガーデンが横たわる。まさに、シンガポールの成長度の象徴とも言うべき建造物である。

今回は、公立小学校である『Queenstown Primary School』を茅ヶ崎方式 C3 の生徒さんで中学校の英語教諭をなさっている佐藤さんと視察してきた。日本からの私達を学校を挙げて歓迎してくださり、大変感激をした。

シンガポールの小学校では第 2 言語の時間以外はすべて英語で行われる。1 年生と 2 年生の英語の授業と LSE (Learning Support English) という英語が得意でない生徒の為の授業を見せていただいた。1 年生と 2 年生の英語の授業はたぶん欧米の英語の授業レベルと大差がないと思われる。日本の小学生もこんな授業を毎日受けていたらとため息がでた。

国の成長が著しい主な理由は、国の教育方針だと私は考える。①シンガポールの教育予算の高さ（20%を占める）。②バイリンガル政策。基本英語で教育が行われ、第 2 言語として中国語、マレー語、タミール語の中の一つを選択する。③数学、科学、技術教育に力を注ぐ。IT 教育を重視。④Teach Less Learn More (TLLM)。棒暗記でなく表現力や効率的な教え方を重視。⑤中国語は北京語を奨励。

母語が多様であり、中国系の家庭でも、北京語を母語とする人々は少なかったが 1979 年に北京語を話すことを奨励し始めた。

日本も他のアジアに置いてきぼりを食わないように教育に今一度力を注いで欲しい。

校長 勝山ひとみ

参照 : Singapore in Nutshell

### My views on teaching.



Good day readers. My name is Jamie Ben Davies, the newest edition to the teaching staff at Azalea Language School, Tsudanuma. I grew up in the small but pleasant English town of Newport Pagnell, about 85km north of London. It has its claims to fame, which I will delight in telling you about if you happen to ask me. I am mainly teaching young learner classes and I am having a fantastic time doing it. Someone told me that watching the seeds of knowledge you plant grow in their minds, or seeing the first glimmer of understanding on their faces is all the job satisfaction you will ever need. How right he was.

**A day in which we learn nothing is a day wasted. Would you be at all surprised to find out that your teachers get from you almost as much as they give????**

講師 Jamie Ben Davies